

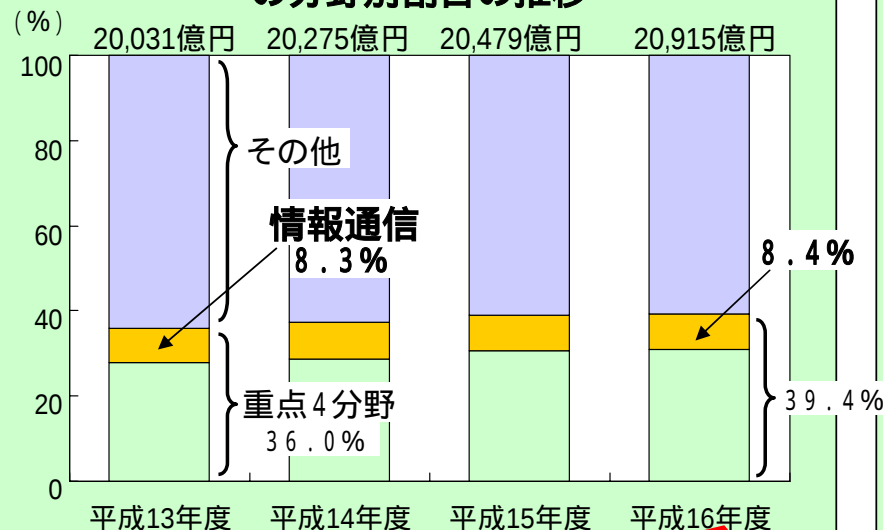
麻生議員提出資料

平成 1 6 年 4 月 2 7 日

科学技術関係予算における分野別配分の現状

第2期科学技術基本計画の初年度（平成13年度）に比して、科学技術関係予算額は増加しているが、重点4分野、特に情報通信分野への配分は不十分

科学技術関係予算(大学等に係る予算を除く)
の分野別割合の推移

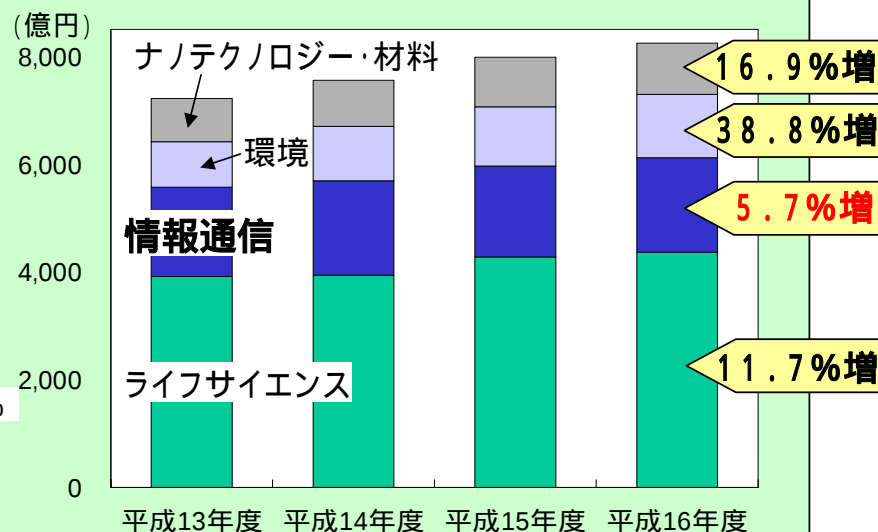


(出典) 総合科学技術会議資料等より作成

わずか0.1%増
(重点4分野全体でも3.4%増)

重点4分野: ライフサイエンス、情報通信、環境、ナノテクノロジー・材料

重点4分野の予算額の推移



(出典) 総合科学技術会議資料等より作成

情報通信は、他の重点分野
に比べて、配分が不十分

平成17年度の重点化に関する基本的な考え方

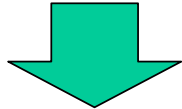
- 平成17年度は、第2期科学技術基本計画の最終年度
- 次期科学技術基本計画を視野に入れ、徹底した重点化が必要

「平成17年度の重点化の方向性について」(第35回総合科学技術会議(H16.3.24)資料より)

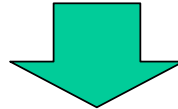
我が国の発展基盤となる研究開発の着実な推進

我が国の経済を活性化し国際競争力を確保する科学技術活動の推進

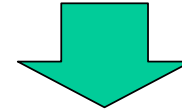
安心・安全な生活を実現する科学技術活動の推進



ユビキタスネットワーク社会の発展に資する技術の芽を確実に育むため、基礎研究の一層の強化、競争的研究資金の拡充



我が国の経済を活性化するユビキタスネットワーク社会の構築を目指して、情報家電、モバイル、光通信、IPv6等、我が国が強みを有する分野を一層発展させ、国際競争力を強化



簡単・便利で、安心・安全なユビキタスネットワーク社会の実現に向けた研究開発等の推進

災害に強い、安心・安全な国づくりの推進

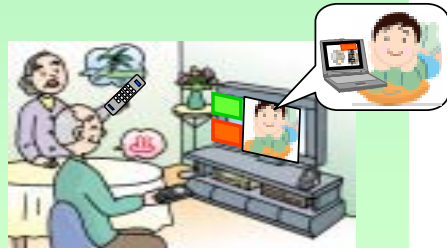
情報通信分野の研究開発の基本的な考え方

2010年
ユビキタスネット社会
(u - Japan)

u-Japan

ひろがるITで動き出す
新しい社会

ITによる安心・安全の確保
いつでもどこでもアクセス可能
様々なものがネットワークにつながる



ボタン1つで孫とおしゃべり

ユビキタスネット社会 (u - Japan) の実現に向けた 主な研究開発課題等

簡単・便利で、安心・安全な暮らしの実現

○ ITを守る

高度なセキュリティ技術や認証技術等、インターネット等の安全性・信頼性強化のための研究開発の推進

○ ITで守る

ITによる一歩進んだ安心・安全な社会を実現するための研究開発の推進
(電子タグの高度利活用、ネットワークロボット、センサーネットワーク、測位技術等)

ITによる経済活性化、国際競争力の確保

- 情報家電、モバイル、光通信、IPv6等、我が国が強みを有する分野への重点化
- ITによる経済活動・社会生活の利便性向上のため、インフラ、ミドルウェア、アプリケーション等、幅広いレイヤにおける研究開発を充実
- 研究成果をスムーズに実用化につなげるための実証実験の推進、テストベッド・ネットワークの整備、アジアを中心とする国際連携施策の推進等

将来の発展基盤となる技術の芽を確実に育む

- 基礎研究の強化(量子情報通信、ナノテク、フォトニック、脳情報科学等)
- 競争的研究資金の拡充、人材の育成、産学官の緊密な連携等

消防防災分野の研究開発の基本的な考え方

消防は、消火のみならず、災害対応、救急・救命など、広範囲にわたり国民の安全・安心の確保に大きな役割。

災害等から国民の生命・身体・財産を守る消防の責務

火災の予防・消火

地震・風水害
への対応

救急・救命

社会経済の変化や都市化の進展等により
災害の態様が複雑・多様化

新しい科学技術の発展
に伴う災害の特殊化

JCO臨界事故

苫小牧タンク火災
RDF施設の爆発事故

韓国地下鉄火災など地
下災害への対応

国内における
NBCテロ災害への対応

広域かつ激甚な大規模地震

東海地震

阪神・淡路大震災

東南海・南海地震

南関東直下型地震

多数の死者と莫大な物的
損害が想定される

科学技術の進展に応じた
消防防災技術の高度化が必要
安心・安全な生活の実現

【重点事項】

- 新技術・新素材を活用した安全装備の開発
 - バイオマスエネルギー等新エネルギーに係る新型プラント等の安全性の研究開発
 - やや長周期の地震動に強い石油タンクの研究開発
 - NBC災害等過酷な条件に耐えうる消防・防災ロボットの研究開発
- 等

